

佛國グラシベルト著
日本鈴木唯一譯

律例精義大意全

未
収

ワ 1
7135

27

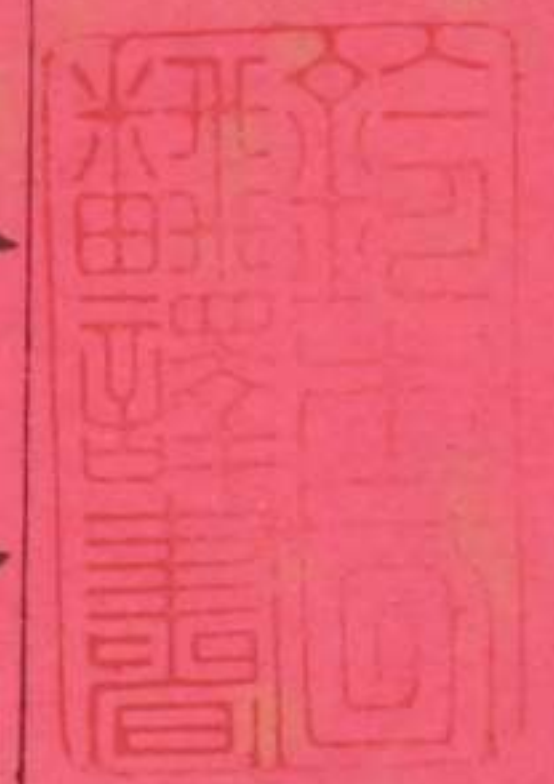


門 71
號 7135
卷

冊 廿
號 廿
函 廿



佛國ダランベルト著
日本鈴木唯一譯



律例精義大意

紀元二千五百三十五年十二月發兌

定價廿五錢

自序
政法ノ事タル千緒萬端ナリト雖モ之ヲ要スル
ニ議政行法司法ノ三ニ出テス是三權ノ區別ヲ
明言スルハ蓋シ希臘ノ「アリストートル」ヲ以テ
肇トス而メ三者ノ中ニ就テ特ニ議政ヲ以テ最
モ難シトスルナリ蓋シ宇宙ノ間ニ國スルモノ
星羅碁布シ皆ニ萬數ノミナラス風土人情盡ク
同一ナルアタハス時ニ古今ノ別アリ世ニ澆淳
ノ異アリ議政立法亦一樣ナルヲ得ス故ニ政法
ヲ談スルモノハ其國ノ宜キヲ察シ其時ノ務ヲ

律例精義大意序

知ラズンハアル可ラサルナリ古者リキユルギユス
ノ「スバルタ」ヲ治ムルヤ武ヲ尚ヒ凡百ノ制度律
例ミナ武ヲ旨トセサルハナシ「ニユマ」ノ「ローマ」ヲ
治ムルヤ文ヲ尚ヒ凡百ノ制度律例ミナ文ヲ主
トセサルハナシ此二君ノ爲ス所互ニ相同シカ
ラスト雖モ然レモ其國ヲ宜キヲ察シ其時ノ務
ヲ知ルニ至テハ則チ一ナリ泰西千七百年代ニ
當リ一流ノ學者アリ普通法理學ナルモノヲ首
唱シ國ノ宜キト時ノ務トヲ問ハス自ラ是非曲
直ノ標準ヲ設ケ以テ諸國議政立法ノ事ヲ範圍

セントス其誤謬タル亦甚シト謂フヘキナリ時
ニ佛蘭西ニモシテスキウナル者出テ年甫テ二
十ニシテ此誤謬ヲ排闢スルノ意アリ志ヲ律法
ノ學ニ潛メ律例精義著述ノ業ニ從事シ拮据二
十年ニシテ始メテ其書ヲ大成シコレヲ印行セ
リ其意蓋シ法學ノ弊ヲ矯正スルニ在リテ而シ
テ諸國ノ議政立法必スシモ一定ノ法理ニ拘泥
セス其風土人情ニ適シ時務ニ切ナルヘキ入理
ヲ示シ併セテ諸國千殊萬異ノ律例ミナ深意ノ
存スルモノアルヲ講述モリ是レ律例精義ノ名

アル所ナリ是ニ於テ乎夫ノ普通法理學ナル者
永ク跡ヲ世間ニ絶ツニ至レリ予向キニ律例精
義ヲ翻譯シ其三篇ハ己ニ刻成リ之ヲ世ニ公ニ
モリ願ルニ原書ハ卷帙浩瀚ニシテ其全部ヲ譯
出印行スルハ之ヲ數月間ニ望ムヘキ所ニアラ
ス因テ今其大意一篇ヲ譯シ以テ世ノ政法ヲ談
スルモノニ告ケントス頃日刻成ル因テ其大意
ノ大意ヲ卷首ニ掲トノ云爾
明治八年十二月東京鈴木唯一識ス

律例精義大意

佛國

日本



從來學士輩モンテスキウ氏ノ律例精義ヲ講
說スル者甚々多シト雖モ皆之ヲ評論スルヲ
主意トナシテ而シテ其大意ヲ舉ケ讀者ナシ
テ便ナラシムル者ハ甚々少シ依テ予ハ諸學
者ノ未ダ着手セザル所ニ就キ其書ノ立案其
性質及ヒ其目的ヲ説明カサントス○予ガ此
律例精義大意ハ遠カニ之ヲ見ルモノ或ハ以

テ冗長ナリト思ハン然レトモ全篇一讀ノ後
 ハ必ラス謂ハントスモンテスキウノ立案ヲ
 理解セシムルニ別ニ節畧ノ方法ナカラント
 又讀者ノ忘ルベカラザル一事ハ有名ナル著
 作者ノ傳記ニ於テ其思考ト其著書ノ傳ヲ除
 ケハ他ニ幾許モナシ而シテ其傳記ノ中ソノ
 思考ト其著書トニ係ルモノハ最モ緊要ニシ
 テ缺クベカラザルモノナリ然レハ此篇ノ如
 キハコレヲモンテスキウノ小傳ト謂フモ亦
 可ナラシカ

夫人類天然同居ノ境ニ在リテ未タ教法ノ之ヲ
 檢束スルヲナキトキハ其知ル所ノ法ハ諸動物
 ノ法ノミニシテ即チ強ハ弱ヲ凌クノ權利是ナ
 リ而シテ人間ニ社會ヲ立ルハ一種ノ條約ト見
 做スベキモノニシテ彼ノ不正ナル權利ヲ禁止
 スルタメナリ而シテ此條約ノ主意ハ人類住居
 スル所ノ諸區域ノ間ニ一種均勢ヲ建ルヲ期
 スル者ナリ而シテ其由ニ由テ而シテ人類ニ
 然ルニ均勢ナル者ハ人事或ハ物質ニ於テモ其
 ノ十全ニシテ永續スル亦甚々稀ニシテ人類一

同ノ條約モ我カ帝王間ノ條約ノ如ク恒ニ爭鬪
ノ端トナル蓋シ人ノ社會ヲ立ルハモト利害苦
樂缺乏等ノ事情アルニ由ルナリ而シテ人既ニ
利害苦樂缺乏等ノ念アレハ亦必ス社會ノ裨益
ヲ享ケテ其義務ノ擔任ヲ免カレンコトヲ圖ル是
人類ノ纒ニ社會ヲ立ルトキハ就チ戰爭ノ境ニ
入ルトモンテスキウノ説ク所以ニシテ予モ亦
此説ニ同ス何ヲ以テ然ルヤ曰ク相戰フモノハ
力ノ相敵スレバナリ又力實ニ相敵サ、ルモ自
ラ相敵スルト信スレバナリ而シテ征服ノ欲、征

服ノ期望コレニ由テ起ラザルハナシ而シテ今
人々互ニ相敵スルヲ覺エ又征服ノ念ヲ起シ征
服ノ期望ヲ生スル皆社會ヲ立テ勢力ノ相敵ス
ルヲ覺ユルニ由ルナリ偕人間社會ヲ立ルニ及
テモ人々ノ間ノ均勢ノ如キハ決シテ十全ナル
ヲ得ズ然レモ其偏重ノ度太甚シキニ至ルハ稀
レナリ蓋シ戰端ヲ開ク所以ナリ然ルニ之ニ反
シテ未タ社會ヲ立テスシテ天然同居スルトキ
ハ一事モ爭鬪ノ端トナルベキコトナク而シテ偶
々爭鬪スベキ切迫ル場合ニ及フモ弱ハ強ノ前

ニ畏避シ而シテ壓制者ハ抵抗ニ遭フコナク被
 壓制者ハ常ニ從順スルノ外ナシ復タ何ソ戦争
 ナ起スノ理アラシ哉
 初メテ社會ヲ建タル人間ノ景況ヲ見ルニ且ツ
 盟約シ且ツ兵器ヲ携帯シ這ノ一邊ニ於テハ互
 ニ相懷抱シ(吾輩如此ノ言ヲ用フルヲ得バ)而シ
 テ彼ノ一邊ニ於テ互ニ相傷害セント圖ルトモ
 謂フ可キナリ是ニ於テ乎初メテ法度律例ヲ建
 テ拘束ヲ加ヘテ多少ノ効驗アリ以テ他ノ攻撃
 ナ停止シ又之ヲ禁止ス然リト雖モ吾人住居ス

ル所ノ地球ハ其幅員廣大ナリ又各地方ノ形勢
 ハ互ニ相異ナリ又此地球ニ散布スル所ノ人民
 モ亦其性質互ニ相異ナレリ依テ人類分レテ幾
 多ノ邦國ヲ成シ法度律例皆同一ナルヲ得ズ國
 ノ面目又同シカラズ若シ人類ヲシテ一政府ノ
 下ニ在ラシメハ其無氣無力ノ群隊タルニ過キ
 ズ而シテ地面ニ群集シテ蠢爾タルヲ見シノミ
 然ルニ邦國ヲ分テ衆政府ヲ立ルトキハ各々壯
 健活潑ナル政府ニシテ各相助ケテ人類ノ大社
 會ヲ成シ互ニ相軋激シテ到處運動ト精神トナ

養成スベシ
 今宇内ノ政府ヲ察スルニ其種類三アリ曰ク共和政治曰ク一君政治曰ク君主特裁而シテ共和政治ニ於テハ人民一體ニ主權ヲ掌握ス一君政治ニ於テハ根本ノ成規アリ一君是ニ照準シテ之ヲ統治ス君主特裁ニ於テハ一主即チ一暴君ノ旨意ノ外別ニ律法ノアルヲ聞カス但シ宇内ニ在ル所ノ政体ハ此三体ニ限り而シテ凡ソ邦國皆必ス此三政體中ノ一ニ屬シテ單純無雜ナリト謂フニアラズ乃チ其事實ヲ察スレハ諸國

ノ政體多クハ互ニ相混淆シテ互ニ他のノ形影ヲ帶スル者アリ即チ一君政治ニシテ君主特裁ニ近キモノアリ一君政治ニシテ共和政治ヲ兼ヌルモノアリ又法律ヲ制作スル者人民一體ニアラズシテ其一部ニ在ルモノアリ千差萬別ニシテ一樣ナラズ然レモ是レヲ以テ上ノ三體ニ分ツノ區別ヲ不正當トナシ又ハ不精密トナス可カラズ以上説ク所ノ共和、君政、特裁ノ三政体ハ各相異リテ相通有スルノ性質ナキ筈ナリ然ルニ予ガ知ル所ヲ以テスルニ諸國ノ政体純粹

ナルハ少ナク必ラズ相兼ヌルモノアリ相混淆
スルアル事ハ上文ニモ言ヘル如クナレバ右三
政体ニ就キ其純駁ニ從ヒ再ヒ部類ヲ分チ而シ
テ其類ニ應スルノ法律ヲ定メザルベカラズ而
シテ次ニ一々政体ヲ觀察シテ其屬スル所ノ種
類ニ應ジ是レニ其法律ヲ適用スルコトハ甚ダ容
易ナルベシ

凡ソ諸邦國ニ於テ其律法ハ其政体ニ因テ斟酌
セザル可ラズ其政体トハ其政府ノ結構ナリ又
其律法ハ其政治ノ大綱ニ因テ斟酌セザル可ラ

ズ政治ノ大綱トハ其政治ヲ維持シ之ヲ行フ所
以ナリ此政体ト大綱トノ區別ハ最モ緊要ナル
モノニシテモンテスキウモ之ヲ本トシ之ニ資
テ說出セル論最モ多シ蓋シ此差別ハ無數ノ法
ノ管鑰ナレバナリ

庶民共和ノ政體ニ關係スル法ハ則チ曰ク人民
某件ニ於テハ君主タルベシ某件ニ於テハ臣民
タルベシ曰ク人民ハ行政官ヲ選擇シ之ヲ審判
スベシ曰ク行政官ハ時ニヨリ事ヲ決斷スベシ
又一君政治ニ於テハ國民ト人民トノ間ニ一會

アリ之ニ委託スルニ律法ヲ以テス即チ此會ハ
 君民ノ間ニ在テ勸解講和ヲ主ドルナリ是レ一
 君政治ノ本性ノ然ラシムル所ナリ又君主特裁
 ニ於テハ暴君自ラ其權威ヲ振ヒ或ハ其代理タ
 ルモノ一人アリ君主ニ代リテ其權威ヲ振フ是
 レ君主特裁ノ本性ノ然ラシムル所ナリ
 以上三政治性質ノ説ハ詳悉セリ今其大綱ヲ説
 カンニ庶民共和ハ共和政治ノ愛重即チ萬民同
 等ヲ尚フヲ以テ其大綱トナス又一君政治ニ於
 テハ褒貶黜陟貴賤尊卑ノ階級ノ出ル所ハ一君

ニシテ是一君ト國家トハ相混シ易ク動モスレ
 ハ國君ト國家トヲ以テ一物ト見做スノ慣習ア
 リ斯ノ如キノ邦國ニ於テハ榮辱即チ志氣高聳
 ト好名心トヲ以テ其大綱トナス而シテ君主特
 裁ニ於テハ恐懼ヲ以テ其大綱トナス以上ノ三
 大綱彌皇張スレハ其政治彌堅固ナリ其變更シ
 或ハ敗壞スレハ其政体滅亡ニ瀕ス○モンテス
 キウ庶民共和ニ於テ萬民同等ヲ尚フト謂フハ
 蓋シ十全ノ同等ヲ指スニアラス又空想ニ涉リ
 テ實地ニ行フベカラザルノ同等ヲ謂フニアラ

不其意ハ蓋シ國中均勢アリテ諸民皆一樣ニ律
 法ヲ以テ制セラレ又諸民皆一樣ニ樂テ律法ヲ
 守ルヲ謂フナリ
 各政治ニ於テ教育ノ法モ其政治ノ大綱ニ因テ
 異同アリ子ガ茲ニ教育ト謂フハ則チ各人世路
 ニ入りテ就テ受クル所ノ教育ニシテ父母ノ教
 又學校教師ノ教ニテ是レハ却テ此ニ所謂
 ノ教育ト背馳スルヲ往々コレアリ一君政治ニ
 於テハ教育ハ禮貌ト相互ノ尊敬ヲ主トナス君
 主特裁ニ於テハ恐懼ト人ノ精神ノ挫折トヲ以

テ主トナス共和政治ニ於テハ教育ノ全力ヲ施
 スノ餘地アリ即チ己レノ利害ヲ顧ミシテ愛
 國ノ念ヲ發スルノ志氣ヲ養成スベキナリ然レ
 此志氣ハ甚タ高尚ナルモノニシテ恐クハ人
 間ノ及バサル所ナリ
 凡ソ立法者制作スル所ノ律法ハ各政體ノ大綱
 ニ適合セザルベカラス即チ共和政治ニ於テハ
 萬民同等ト儉約ノ道ヲ維持スルヲ主トスベシ
 一君政治ニ於テハ人民ヲ破滅スルヲナクシテ
 貴顯ヲ扶持スルヲ旨トナスベシ君主特裁ニ於

テハ各等級ノ人民ノ口ヲ掛シ之ヲ壓制スルヲ
 務ムベシ或ハモンテスキウヲ駁シテ謂ハント
 ス專制特裁ノ如キハ賢明ノ君主ソノ字面ヲ見
 ルモ喜バズ況ンヤ賢良有徳ナルシタイズ國士ニ於テヤ
 ヤ然ルニモンテスキウハ君主特裁ノ大綱ヲ以
 テ君主ニ教フ又甚シカラズヤト頻リニ之ヲ貢
 ム是レ甚タ不當ナリ失レ君主特裁ヲ維持スル
 所以ノモノヲ教ヘタルハ蓋シ君主特裁ノ政體
 ナシテ自滅セシメンガタメナリ何ヲ以テ之レヲ
 言フヤ曰ク君主特裁ノ政體ノ若シ維持スル所以

ノ法ヲ得テ十全トナレハ滅亡モ亦近キニアレ
 バナリ且ツモンテスキウノ記載セル所ノ君主
 特裁ノ綱紀ノ如キハ極メテ精密ニシテ遺漏ナ
 ク暴君ニ取リテハ嘲哂セラル、ガ如ク又苛責
 モラル、カ如クナルベシ而シテ他ノ政體ニ至
 テハ各利害得失ヲ異ニス即チ共和政治ハ小國
 ニ利アリ一君政治ハ大國ニ宜シク共和政治ノ
 弊ハ常ニ過度放肆ニ在リ越ニ或ハ其適度ニ及
 ハス又人民檢束ナク敷一君政治ノ弊ハ濫ト妄
 肆ニ在リ又共和政治ニ於テ律法ノ施行ハ之ヲ

他ノ政治ニ比スレハ常ニ評議ノ熟スルノ後ニ
 於テス是レ他ノ政体ニ勝レル所ナリ一君政治
 ニ於テハ律法ノ施行ハ常ニ迅速ニシテ遲滯ナ
 シ是レ他ノ政躰ニ愈レル所ナリ
 三政體ノ大綱既ニ相異ナルトキハ其律法ノ數
 并ニ目的モ亦相異ナラサルヲ得ス裁判ノ式刑
 罰ノ輕重モ亦各々相異ナラザルヲ得ス一君政
 治ノ憲法ハ確乎不拔ニシテ國ノ基礎タリ而シ
 テ聽斷ヲ行フニモ一定ノ方法アリテ擅恣ノ弊
 ナカラシメンタメニ須ラク多クノ民法ト多ク

ノ裁判所ヲ設クベシ凡ソ限制アル政治ハ一君
 政治ト共和政治トヲ論セズ刑法ヲ行フノ式ハ
 精密ヲ盡クシテ遺漏ナキヲ要ス凡ソ罰ハ唯其
 罪ノ輕重ニ應スルノミナラス常ニ輕キニ從フ
 ヘク庶民共和ニ於テハ殊ニ然リトス蓋シ人民
 其罰法ヲ見テ寬トナシ酷ト作スニ從テ其効驗
 モ亦是ニ隨フ空シク嚴罰ヲ用フルニ愈レリ共
 和政治ニ於テハ法律ニ照準シテ裁判ヲ申渡ス
 ハシ之ヲ變更スルノ權ハ一人モ之ヲ有セザレ
 バナリ然ルニ一君政治ニ於テハ君主ノ特恩ヲ

以テ或ハ法律ノ嚴ヲ和クルコトアリ然レモ裁判
 ハ別段其任ヲ受タル官吏ヲシテ之ヲ行ハシム
 ベシ他人ヲシテコレヲ爲サシムベカラズ之ヲ
 要スルニ奢侈ヲ禁ジ又放蕩ヲ禦キ又婦人ノ淫
 行ヲ禁スルタメニ嚴刻ノ律法ヲ設クルハ重ニ
 庶民共和ニ於テ爲スベキコトナリ又婦人ノ天性
 柔順ナルハ一君政治ヲ統御スルニ適當スルコ
 トアリ婦人ノ冠冕ヲ著ケテ光輝ヲ放チタルハ歷
 史ニ其證例多シ
 モンテスキウ既ニ各政治ヲ一々論シテ之ニ次

テ論スル所ハ國ト國トノ關係ナルガ是ハ詳細
 ニ論ゼズ只其政体ノ性質及ヒ其大綱ノ異同ア
 ルニ因テ彼國此國ノ間ノ關係交際ノ異同アル
 ナ論スルノミ此見點ヨリ論スルトキハ國ト國
 トノ關係ハ和戰攻守ノ關係アルノミ共和政治
 ハ其性質ノ然ラシムル所ニテ其國多クハ狭小
 ナルヲ以テ同盟ナクハ勢ヒ防禦ノ策ヲ施ス能
 ハス但シ其同盟モ必ラス共和政治ノ國ナルベ
 シ一君政治ノ防禦策ハ其四疆ヲ警戒シテ外侮
 ナ禦クヲ主トス邦國ハ人ト同シク自護自保ノ

タメニ他ヲ攻撃スルノ權利アリ既ニ戰爭ノ權
利アレハ又國ニ勝ノ權起ル斯ノ國ニ勝ノ權ハ
モト止ムヲ得ザルニ出ルモノ、法ニ合フモノ、不
祥ナルモノニテ是權ヲ享有スル上ハ人間總体
ヘ盡スベキノ義務ヲ生スコレヲ盡サントスル
トキハ常ニ鉅萬ノ債ヲ負フヲアリ而シテ此權
利ヲ運用スルノ大法ハ成ルタケ亡國ノ人民ヲ
害セザルニ在ルナリ共和政治ノ國ニ勝ツノ力
ハ一君政治ニ劣レリ國アリ其征服ノ地多キハ
其國ノ既ニ君主特裁ノ政体タルヲ推度スベク

或ハ其來ルヲ遠カラザルヲ知ルベシ征服ノ大
法ノ一ハ則チ亡國ノ人民ノ景況ヲ勉メテ改良
スルヲ是レナリ是レ一舉ニシテ性法ヲ實踐シ
且ツ國務ノ要訣ヲ實行スルト謂フベキノ昔
者ゼロノカルサーシ人ト戰セ克テ後ニ和睦
ノ條約ヲ結ヒテ後來其子女ヲ以テ神祇ノ牲ト
ナスヲ禁シタルハ貴重スベキノ舉ト謂フベキ
ナリ近世イスパニヤ人ノベリユールニ勝ツヤ又
居民其子女ヲ屠テ神祇ノ牲トナスヲ禁スベキ
ナリ然ルニ之ヲ禁セサルノミナラス却テ自ラ

其人民ヲ屠ルヲ以テ上策ト思惟セリ斯クテ其
征服ノ地殘ル所ハ空漠ナル曠野ノミニシテ其
本國ノ人民ヲ移シ住セシムルノ場合ニ至リ國
ニ勝ツガタメニ却テ本國ノ衰微ヲ招キタリ凡
ソ國ニ勝ツトキハ時トシテ勢ヒ其律法ヲ變更
セザルヲ得ス然レモ其風俗ハ之ヲ奪フベカラ
ズ征服ノ地ヲ保ツノ良策ハ則チ其亡國ノ人民
ヲ以テ勝國ノ人民ト同等タラシメ同一ノ權利
特恩ヲ附與スルニアリ是レローマ^人ノ屢行フ
所ニシテシーザルノゴール人ニ於ケル殊ニ然

リトス
上文既ニ政府ノ本體并ニ他國トノ關係ヲ論シ
タリ然レモ諸政體普通ノ法ハ未タ之ニ論及セ
ス又風土人情ノ異ナルニ因テ起ル所ノ事情モ
未タ之ニ論及セス今之ヲ下ニ説明サントス
政道ノ自由(自然ノ自由ニ對シテ言フ)ハ宜シク
各人ノ享有スベキ權ニシテ諸政體普通ノ法ナ
リ但シ之ニ漏ルヽノ政治コレアリト雖モ此法
ハ限制アル政治ノ法ナレハ諸政體ニ通スル正
當ノ法ト見做シテ可ナリ此自由ハ蓋シ各人己

レノ好シテ爲サントスル所ヲ爲スガ如キ不道
 理ノ自由ニハアラズ乃チ律法ノ許ス所ノ各事
 件ヲ爲スノ權アルヲ謂フナリ而シテ之ヲ論ス
 ルニ二項ニ分チテ可ナリ即チ一ハ憲法ニ就テ
 之ヲ論シ一ハ國人ニ就テ論スベシ先ツ憲法ニ
 就テ之ヲ論センニ凡ソ各國ノ憲法皆二種ノ權
 柄アリ一チ立法ノ權ト曰ヒ一チ行法ノ權ト曰
 フ行政ノ權ノ司トル所ハ二ニシテ即チ内國ノ
 治安ト外國交際是レナリ而シテ憲法ニ涉リタ
 ル政治上ノ自由ノ十全ナルト十全ナラザルト

ハ蓋シ右兩權柄ノ分派宜シキヲ得テ其區域ノ
 正シキト否トニヨルナリモンテスキウハ羅馬
 共和政治ノ憲法ト英國ノ憲法ヲ引テ之ヲ證ス
 モンテスキウノ説ニ英國憲法ハ古昔ゼルマニ
 一人ノ政府ノ根本律法ニ小事ハ會長自ラ之ヲ
 決シ大事ハ先ツ會長ノ評議ヲ經タル後ニ人民
 集會ノ前ニ於テ之ヲ討論スベシトアルヨリ出
 ツルトセリ但シ英國ニ於テハ其憲法ノ許ス所
 ノ自由ノ權ヲ人民實ニ之ヲ享有スルヤ否ハモ
 シテスキウ敢テ之ヲ穿鑿セス只英國ニ於テハ

律法ヲ以テ其自由ノ權ヲ立テタル事ヲ述ヘタルノミ又他國ノ自由ノ權ノ有無等ヲ論スルニ至テモ更ニ嘲哂ノ意ヲ含ミタルモノナシ乃チ其信スル所ハ事ノ善美ナルモ其適度ニ過クルハ復々願ハシキ事ニアラス自由ノ極ハ又弊アリテ奴隸ノ極ト同シク之ヲ概論スルニ中等自由ガ最モ人間ニ適當ストナセリ

諸國民一身ノ上ニ付テ自由ヲ論スレハ即チ國人ソノ律法ノ保護ノ下ニ生活シテ安全ナル事ヲ謂フ又タトヒ實ニ實地ノ安全ナキモ自ラ其

安全ナルヲ覺ユテ而シテ國人互ニ相恐懼セザルヲ謂フナリ而シテ此自由堵安ノ有無ハ則チ重ニ罰ノ輕重ト割合トノ宜キヲ得ルト否トニ由ルナリ凡ソ教法ニ背キタル罪科ハ宜シク之ヲ罰スルニ教法附與スル所ノ裨益ヲ剝奪スルヲ以テスベシ人倫ニ背キタル罪科ハ宜シク之ヲ罰スルニ汚辱ヲ以テスベシ世上ノ靜謐トランキリティヲ害スル罪科ハ宜シク之ヲ罰スルニ監禁或ハ流刑ヲ以テスベシ世上ノ安全セキユリティヲ害スル罪科ハ宜シク之ヲ罰スルニ更ニ苦楚ナル法ヲ以テスベシ書

物ヲ咎ムルコトハ所行ヨリ更ニ少ナカルベシ又
 思想ニ止マルモノハ決シテ罰スベカラス凡ソ
 律法ノ格式ニ由ラサル彈刻、姦細、無名ノ書狀等
 ハ暴虐ノ泉源ニシテ其ノ使用ニ供スル人又之
 ナ使用スル本人ノ汚辱ニシテ善美ナル一君政
 治ニ於テハ擯斥スベキ事ナリ凡ソ人妄リニ他
 人ヲ告スルヲ得ス唯法律ヲ執リ顯處ニ於テ之
 ナ告スベシ即チ其告スル上ニテ律法ヲ以テ被
 告ヲ罰シ或ハ其讒誣人ヲ罰スモシ告スル者ナ
 キ時ハ牧民ノ職ニ在ル者宜シクコンスタンテ

ナス帝ノ言ヲ以テ定規トナスベシ其言ニ曰ク
 「人アリ素ヨリ讐敵ナキニアラズ而モ其罪ヲ出
 訴スルモノナシ余輩ハ此ノ如キ人ヲ罪アリト
 謂フ能ハスト」○公然タル一官員ヲ置キ政府ニ
 代リテ罪戾ヲ告スルヲ任ズルノ制度ハ其宜キ
 ナ得ルコトト謂フベシ探索訐發ヲ以テ本業トス
 ル者ハ小利害ヲ顧ミルアリ惡弊アリ又汚辱等
 アリト雖モ此官吏ニ至テハ探偵ノ害ハナクシ
 テ探偵者ノ利ハ皆之ヲ兼ヌルナリ
 取税ノ多寡ハ人民ニ許ス所ノ自由自主ノ權ノ

多少ト正ニ比例スベキナリ假令バ民主ノ國ニ於テハ取稅ガ他國ヨリモ夥多ナリトモ人民コレヲ負荷スルニ堪ユベシ何ニナレハ租稅ハ人民自ラ納メ自ラ用ヒテ而シテ各自ノ安寧ト幸福トヲ固フスルモノト思惟スレハナリ且ツ民主ノ國ニ於テハ官吏其歲入ヲ濫用スルハ他國ヨリモ更ニ難シ何ニナレハ其奸曲ヲ發覺スルハ又コレヲ罰スルコトハ他國ヨリ容易ナレハナリ又其歲入ヲ委託セラレシ者ニ向ヒ人民ヨリ其用途等ノ算計ヲ詰問スルトキハ直ニ

コレヲ辨明セサル可ラサレハナリ何レノ政府ヲ問ハス租稅ノ最モ負荷シ易キモノハ物品稅是レナリ何ニナレハ國人知ラス識ラスコレヲ納ムレハナリ太平ノ時ニ際シ過多ノ軍勢ヲ養フハ則チ之ヲ口實トシテ人民ヲシテ租稅ヲ負荷セシムルニ過キス又國ヲ衰弱セシムルノ具トナリ又民ヲ奴隸ト爲スノ資ナリ取稅ノ管理宜ヲ得テ年貢ノ全額ミナ官庫ニ入ルトキハ其人民ノ負荷ノ輕キコト比類ナカルベシ然ルニ若シ其取稅ノ權ヲ貸出ストキハ其

權ヲ借受ル者ハ官民ノ中間ニ居リテ年貢ノ一
部分ヲ占有シ官庫ニ入ルモノ少シ官庫ニ入ル
モノ少キトキハ人民更ニ税ヲ収メタルヘシ人
民ノ負荷ノ輕キヲ得サルナリ然リ而シテ國ノ
奢侈ソノ極度ニ達スルトキハ収税ノ權ヲ借受
者ノ業ヲ以テ榮譽ナルモノトナス此場合ニ至
ルトキハ百事壞敗セザルコトナシ曾テ某國ニ於
テハ人ノ公有ノ租税ヲ横領シテ富家トナルヲ
公認シ而シテ其富家トナルヲ待テ官コレガ財
ヲ奪フノ習慣アリキ此等ハ不義ヲ以テ不義ヲ

矯正セントシ却テ更ニ一惡事ヲ逞フスト謂フ
ベキノミ
以上説ク所ハ政府ノ性質ニ關係アル事情ナル
ガ下ニ猶ホ一二事ノ説クベキモノアリ是レ政
府ノ性質ニハ關係ナキモノナレ凡ソ法律ヲ
制作スルニハ此事情ニ乖カザルヲ要スベシ即
チ國ノ性質ヨリ二箇ノ事情ノ起ルアリ一ハ氣
候ニ關係シ一ハ土質ニ關係ス氣候ノ人民ノ風
俗ニ於ケル其關係極メテ大ナリ其人民ノ性質
ニ於ケルモ亦然リ是レ諸人ノ更ニ疑ハサル所

ナリ依テ法律ヲ制作スルニ各異ノ事ニ於テ氣
候ニ乖カザルヲ要スト雖且ツ氣候ヨリ起ル
所ノ弊害モ亦コレヲ豫防セザルベカラス假令
ハ葡萄酒ヲ飲ミ害アル國ニ於テ是レヲ禁止ス
スルノ法律ハ良法ト謂フベシ又氣候ノ炎熱ニ
ヨリテ人民懶惰ニ陥リ易キ國ニ於テ業ヲ勤ム
ルノ法ハ甚タ適當ト稱スベシ蓋シ氣候ヨリ起
ル所ノ弊害ハ政府ノ力能クコレヲ矯正スルヲ
得ベキナリ然レハ或人ノ說ニモンテスキウハ
百事ニテ寒。暖ノ作用ニ歸スルト爲ストシテ妄

リニ律例精義ニ惡評ヲ下セルハ容易ニ打破ル
ベキナリ蓋シモンテスキウ氣候云々ト謂フト
雖且寒暖ノミナ氣候ト謂フニアラス且ツ百事
ミナ。氣候ノ作用ニ歸スルハ妄誕ニシテ固トヨ
リモンテスキウノ意ニモアラザレ且又氣候ノ
事物上ニ幾分ノ影響ヲ生スルハ必然ニシテ是
ヲ然ラストスルヲ得ザルナリ
奴隸ヲ蓄フノ習慣ハ亞細亞墨利加ノ氣候炎
熱ナル諸國ニ行ハレテ歐羅巴ノ氣候温和ナル
諸國ニ行ハレズ因テモンテスキウハ國ニ奴隸

ナ蓄フルニ就キ論説ヲ提出シタリ抑々人タル者
 ハ互ニ他ノ性命ヲ擅ニ與奪スルノ權ナク又他
 ノ自由ヲ奪フノ權ナシ是ニ由テ考フルニ奴隸
 ナ存スルモ亦概言スレハ自然ノ法ニ悖レリ或
 ハ曰ク人ヲ奴隸ニ爲スノ權ハ戰勝ツヨリ起ル
 ト其説ヲ聞クニ曰ク是權ノ根據スル所ハ蓋シ
 降卒ガ己レノ生命ヲ贖ヒタレハナリト是レ甚
 タ不條理ナリ何ニナレハ凡ソ人ヲ殺シ人ノ生
 命ヲ絶ツノ權ハモト自保自護ヨリ起リ不得止
 ニ出ルモノナリ降卒ハ復々我レヲ攻撃セス我

レ何ソ自保自護ノ名ヲ假リテ彼レノ生命ヲ奪
 フノ權アラシヤ彼レ又何ソ生命ヲ贖フヲ要ス
 ルノ理アラシヤ是ニ由テ之ヲ觀レハ人ヲ奴隸
 トナスノ權ヲ以テ戰勝ツヨリ起レリトスルハ
 非ナリ或ハ又曰ク一人アリテ他人ニ己レノ身
 ナ賣リタルニ起レリト是又甚タ不條理ナリ何
 ニナレハ凡ソ國人タル者ハ己レノ身ヲ擅ニ處
 スルヲ得ス必ラス國ノ審斷ヲ受クベシ其一身
 上ノ自由モ亦然リ依テ己レノ自由ヲ他人ニ賣
 ルノ權ナシ然ラハ身ヲ賣ルニ起ルトスルモ其

解ヲ得ス且ツ假令ヒコレヲ賣ルト見做スモ何
 物ヲ以テ其本價トスルヤ余輩思フニ賣主ニ附
 與セラレタル金錢ヲ以テ本價トハ見做ス可ラ
 ス何ニナレハ身ヲ賣ルト同時ニ賣主ノ私有皆
 買主ノ私有トナレハナリ
 古來人ヲ奴隸トナシテ條理アルハ一法アルノ
 ミ即チ羅馬法律ニ借主ヲ以テ貸主ノ奴隸トナ
 スベシトアルハ條理ナシト謂フベカラス但シ
 是レトテモ其輕重寬猛ノ度ト其時限トヲ限制
 セザレハ公平ト謂フベカラス奴隸ハ君主專制

ノ國ニ於テハ許ス可シ斯ノ如キ國ニ於テハ自
 由ノ人モ其力ヨク政府ニ對抗スルニ足ラス其
 用ヲ辨スルヲ以テ暴君ノ奴隸タラシトナ務ム
 レハナリ氣候炎熱ニシテ人ノ身體ヲ弱クシ勇
 氣ヲ挫キテ而シテ人ハ嚴罰ノ恐懼ナケレハ勞
 動スルヲ肯ンゼサル處ニテハ奴隸ヲ畜フヲ許
 スベシ上ニ言フ所ハ所謂民奴ナリコレニ類似
 シタルモノハ即チ家隸ナリ國ニヨリテ婦人コ
 ノ家隸ノ身分ヲ免カルヘヲ得ス蓋シ亞西亞ノ
 某々國ニ於テハ婦人尙ホ幼年ニシテ其道理分

別ノ力ノ發達セサル前既ニ男子ト同居スルニ
 堪ル所アリ其婦人ハ全ク氣候ノタメニ早ク婚
 嫁スルニ堪フルモ其實ハ童女タリ斯ノ如キノ
 邦國ニ於テハ婦人ヲ束縛シテ奴隸トナスノ風
 俗モ行ハルベキナリ又一夫衆婦ノ風俗ノ行ハ
 ル、邦國ニ於テハ婦人ヲ束縛シテ奴隸トナス
 ノ風習殊更ニ必用トナルナリ此風習ハ教法ニ
 背反スル以上ハモンテスキウモ之ヲ許可セズ
 但シ教法上ノ論ハ姑ク措テ論ゼズ政事上ヨリ
 論ズレハ則チ其國ニ此風俗ノ行ハル、ハ根據

ナシト謂フベカラズ其根據トハ何ソヤ則チ氣
 候ノ性質及ヒ男女ノ數ノ平均ヲ得サル事是レ
 ナリモンテスキウ又男女間ノ棄絶ト離婚トチ
 論シテ男子ニ棄絶離婚ノ權ヲ許可スル以上ハ
 女子ニモ亦是權ヲ許スベシト條理ヲ述ヘテコ
 レヲ教示セラレタリ
 國ノ氣候ト民奴家隸ノ有無ト互相關係スルト
 キハ又邦國ノ隸屬トモ互相關係セザルヲ得ズ
 夫レ邦國ノ隸屬トハ此國彼國ノ附屬トナルヲ
 謂フナリ北方ノ人民ハ南方ノ人民ニ比スレハ

更ニ強壯ニシ豪勇ナリ概論スレハ南方ノ人民
 ハ常ニ敗レ北方ノ人民ハ常ニ勝チ南方ノ人民
 ハ常ニ奴隸ニシテ北方ノ人民ハ常ニ自由ナリ
 是事ハ史ニ據テ歷々徴スベシ亞西亞ノ如キハ
 北方ノ人民ノタメニ國ヲ畧取セラレ、十一
 回ニ及ベリ然ルニ歐羅巴ハ七國ノ災害ニ罹レ
 ルヲ更ニ少ナシ
 土質ニ關係スル法律ニ付キ論センニ其地礪確
 ニシテ多ク人工ヲ要スル所ハ一君政治ヨリモ
 庶民共和ニ適セリ斯クノ如キ國ニ於テハ其勞

動甚シト雖モ政事ノ自由ナルヲ以テ其補償ト
 スルニ足レバナリ耕作ヲ事トスル人民ハ牧養
 ナ務ムル人民ヨリ許多ノ法律ヲ要スベシ牧養
 ナ務ムル人民ハ狩獵ヲ專業トスル人民ヨリ許
 多ノ律法ヲ要スベシ又貨幣ヲ用フル人民ハ貨
 幣ヲ用ヒガル人民ヨリ許多ノ法律ヲ要スベシ
 ○コレヲ要スルニ人民ノ性質風俗ハ注意セザ
 ルベカラザル事ナリ凡ソ修飾ヲ好ミ事物ヲ誇
 張スルノ風俗ハ政治家ノタメニハ利益ヲ修
 ナ好ム人民ハ常ニ勉強ナリモ、然レモ、
 キウハ、ラン、ス、人、チ、其、例、ニ、出、セ、リ、

傲ニシテ事物ヲ輕蔑シ亦コレヲ蔑視スルノ風
 俗ハ甚タ危害アリ倨傲ナル人民ハ大概懶惰ナ
 ヤ人ナ其例人民ノ僻見、情欲、惡俗ノ如キ者ト雖
 ニ出セリ立法者之ヲ蔑ニスベカラズ凡ソ立法者ハソ
 ロノ跡ヲ學フベシソロンノアテン人ノタメ
 ニ設ケタル法律ハ善ヲ盡シ美ヲ盡セルニアラ
 ガレモアテン人ノ尊奉スルニ堪フルモノナリ
 キ○アテン人ハ快活ナリシテ以テ寛法之ヲ處
 スルニ適當セリ然ルニラセドモニヤ人ハ其性
 質嚴格ナルニヨリ嚴法コレニ適當シタリ凡ソ

風俗ヲ移易セントナラハ法律ヲ以テスベカラ
 ス法律ハ風俗ヲ移易スルノ正方ニアラス風俗
 ナ移易セントモハ褒賞ト例トヲ以テスベシ勿
 論其人民ニ設クル所ノ法律モ其風俗ニ逆反セ
 サルトキハ必ラス風俗ニ感及シテ其風俗ヲ固
 フシ或ハコレヲ移易スルノ効アリト知ルベシ
 必シモ其効ナシト言フニ非ス
 以上氣候ノ諸種類及ヒ人民ノ諸種類ニ由テ律
 法ノ相異ナルノ說ハ既ニ曲盡シタレハ今又諸
 國人民ノ交際上ニ立戻リテコレヲ說カン第一

ニ諸國ノ交際ヲ概論スルニ當リテハ各國ノ人
民互相妬ミ相忌ムノ事情ヲ察シ其弊ヲ改メテ
相助ケ相喜ハシムルノ方法ヲ設ケント欲ス此
相助ケ相喜ハシムルノ方法ハ他ナシ只貿易ヲ
務メテ諸國相往來スルニ在ルノミ既ニ貿易ノ
風行ハルトキハ必ラス利害得失ノ念ヲ興起
ス此利害得失ノ念ハ道學上ノ諸徳ノ高尚ナル
モノトハ素ヨリ相同シカラズト雖モ自然人民
ナシテ正直ナラシメ懶惰ヲ嫌ハシメ又搶奪ヲ
以テ生計ヲ爲スノ風ヲ改メシム○限制アル政

府ノ下ニ生活スル自由ノ人民ハ必ス貿易ヲ務
ムルコト多ク奴隸タル人民ハコレヲ務ムルコト少
ナシ凡一國鎖港シテ他國ト交易ヲ行ハサルカ
如キノ事ハ重大ナル道理アルニ非ザレハ決シ
テ爲ス可ラサル事ナリ且又貿易ノ自由ト云フ
ハ一ニ商賈ノ隨意ナラシムルト云フニハアラ
ス斯ノ如キノ自由ハ商賈ノ益トナラスシテ却
テ害トナルベシ夫レ貿易ノ自由ト云フハ他ナ
シ貿易ノ繁昌ノタメニ拘束ヲ施スベク其外ハ
決シテ拘束ヲ施ス可ラサルヲ謂フ而已一君政

治ニ於テハ貴族ハ商法ヲ務ム可カラス況ンヤ
 國君ニ於テチヤ之ヲ要スルニ國ニヨリテ貿易
 ノ不利ナルモノナリ但シ諸色不足ナキ國然ル
 ニアラス諸色不足ナル國然リトナスモンテス
 キウハ斯ノ異說ヲ證スルニポーランドヲ引テ
 其的例トナス夫レポーランドハ穀物ヲ除クノ
 外諸色皆之レニ乏シ然ルニ穀物ヲ以テ他國ノ
 品物ト貿易シタルニヨリ平民日用ノ物皆缺乏
 シテ只ニ貴族ノ奢侈ヲ遂ケシメタリ又モンテ
 スキウハ貿易上ニ必要トナス所ノ律法ヲ論述

スル次テニ貿易沿革史ヲ演述シタリ其篇深味
 アリテ新奇ナルヲ多シ○モンテスキウハイ
 パニヤガアメリカノ發見ニ由テ自國ノ困究セ
 シ事ヲ以テ或諭言ニ云ヘル暗弱ノ君ノ運命ニ
 比シタリ其君ハ先キニ神ニ向ヒ何物ニ限ラス
 手ニ觸ル、所ノ物皆變シテ金ニ化セン「ナ祈
 願シタリトテ其身餓死スルモ意トセザリシト
 云ヘリ○貨幣ノ用タルヤ交易上ノ一部分ニシ
 テ貿易ノ重ナル器械ナリ因テモンテスキウノ
 說ニ爲替、國債消却并ニ金銀貸借等ニ關スル貨

幣ノ用ハコレヲ論セサルベカラズトシ又利子
ノ規則并ニ限制ヲ定メテ而シテ彼ノ高利ト稱
スルモノト尋常ノ利息トヲ區別シタリ
人口ノ繁殖ト居氏ノ數トハ貿易ノ盛衰ニ大關
係アリ而シテ婚姻ノ主意ハ人口ヲ繁殖スルニ
在ルヲ以テモンテスキウハ婚姻ノ論題ヲ詳悉
シタリ而シテ其ノ說ニ據ルトキハ最モ人口繁
殖ヲ助クルモノハ貞節是レナリ蓋シ經驗ニ據
ルニ不經ナル交情ハ人口繁殖ニ益ナクシテ却
テ往々害ナレハナリ從來婚姻ニ付テ父ノ許可

ヲ須チタルハ當然ノ事ナリ但シ律法ハ大概婚
姻ヲ獎勵スベキモノナレバ時トシテ父ノ權ノ
限界ヲ定ムベキナリ○母子ノ婚姻スルヲ禁ス
ル法ハ宗旨ノ訓言ニ拘ハラス民法上ヨリ論ス
ルモ甚々善良ナル法律ナリ何ニナレハ他ノ諸
道理ハ姑ク不論ニ置クモ双方ノ年齢ノ差違甚
タ大ナルヲ以テ斯ノ如キノ婚姻ハ子孫繁殖ヲ
以テ其目的トナスハ稀ナレバナリ又父ト女ト
婚姻スルヲ禁スル法ハ其根據上ノ法ト甚々相
異ナレリト雖モ人口繁殖ノ害トナルコトハ母子

ノ婚姻ニ比スレハ更ニ少ナキノミ何ニナレハ
 男子タル者ノ生産ノ力ハ女ニ比スレハ更ニ長
 ク繼續スレハナリ但シ是レ政事上ニテ論スル
 所ニシテ教法上又道德上ヨリ論スルニアラズ
 且又耶蘇教ノ光輝ヲ蒙ラザル國々ニテハ他ノ
 惡風ノ行ハル、モノアリ○人ノ婚姻スルハ自
 然ニシテ人力ヲ以テ催促スルニ及バザルベキ
 ナリ然ルニ政府ニシテ婚姻ヲ催促スルモノア
 ラハ其政府ノ不良ナルヲ推知スヘキノミ夫レ
 自由、安全、薄税、節儉ハ皆人口繁殖ノ元氣ナリ既

ニ是元氣ノ盛ナルトキハ別ニ婚姻ヲ催促スル
 ナレドモ敢テ律法ヲ以テ婚姻ヲ催促スベカラ
 ズト謂フニアラズ、ダトヘハ風俗頹敗極マルト
 モ猶ホ人民ノ心中本國ヲ愛スルノ念未タ全ク
 消滅セザルトキハ(按)人民既ニ愛國ノ念ヲ全ク失
 アラノ益カ法律ヲ以テ婚姻ヲ獎勵シテ成功アル
 ヘシ○人類蕃息ノタメニ設ケラレタルアチギ
 ュスチユスノ法律ノ如キハ良善ノモノト稱ス
 ベシ只恨ラクハ其法律頒行ノ時ハ則チ羅馬共

和政治ノ衰運ニ赴キタル時ニ際セリ依テ無氣
無力ノ人民ト雖_レ先見シテ謂ヘラク子孫繁殖
ト稱スルハ則チ奴隸ヲ繁殖スルニ過キスト是
ヲ以テアヲギユスチユスニ嗣キタル帝ノ時ニ
ハ其律法ヲ施行スル_レ甚タ嚴密ナラズ終ニコ
ンスタンチイン帝ノ耶蘇教ニ入ルニ及ンテ其
法律ヲ廢シタリ茲ニ怪ムベキハ十全ノ獨身ヲ
僅々ノ人_ヲ僧徒ニ進ムルハ固トヨリ耶蘇教ニ於
テ爲ス所ナレ_レ世界ノ人口ヲ斷絶スルハ其趣
意ニアラス然ルニ帝ノ耶蘇教ニ入ルヤ其婚姻

獎勵ノ法律ヲ廢シタルハ何ソヤ
病院貧院ノ如キモ其建設ノ模様ニヨリ或ハ人
口繁殖ニ益アリ或ハコレニ害アリ凡ソ國民ノ
大半ニテ業ヲ務メテ生計ヲ立ルトコロニテハ
病院貧院等ヲ建設スベキナリ何ニナレハ商賈
職人トモニ時々盛衰アリ其衰替ノ場合ニ至ラ
ハ貧院ヲ除テ何レニ往カン哉但シ其貧院ノ與
フル所ノ救助ハ必ス一時ナルベシ決ノ乞食ト
懶惰トヲ勸ムルニ至ラシム可ラス凡ソ人民ハ
先ツコレヲ富有ニナシ然ル後貧院等ヲ建設シ

テ以テ不慮ノ切迫ノ場合ニ備フベシ若シ夫レ
貧院許多アリ又永久ノ貧院タル寺庵許多アリ
テ他人ミナ安樂ニ日ヲ度リテ苦シム者ハ勉業
スル者ナル様ノ國ハ甚タ不幸ト謂フヘキノミ
以上モンテスキウノ論スル所ハ人事ノ法律ニ
係レリ下ニ論セントスルハ則チ宗旨ノ法律ナ
リ蓋シ宗旨ノ法律ハ各國ミナ政事ノ一大要部
ト爲セバナリモンテスキウハ耶蘇教ヲ頻リニ
稱讚シ其利益ヲ指示シ其高大ナルヲ指示シ其
廣ク行ハレシトナリテ期望シ嘗テハールノ唱フル

所ナル十全ナル耶蘇教徒ノ社會ハ則チ一箇ノ
永遠無疆ノ邦國ヲ成スニ足ルハ實ニ成リ難キ
事ニハアラズト斷言シタリ然レモモンテスキ
ウ又思フニ人情ヲ以テ論スル時ハ凡ソ諸宗旨
ハ之ヲ信仰スル所ノ人民ノ性質地位ニ適シ或
ハ適セザルコトアリ之ヲ討論シテ可ナルベシト
セリモンテスキウノ宗旨ヲ論スル篇ハ多ク誹
謗ヲ受ケタル所ナレバ讀者宜シクモンテスキ
ウノ眞意ヲ了解シテコレヲ讀ムベシ特ニ怪ム
ベキハ其時代ノ人ハ前代ヲ見テ野蠻ナル汚世

トナセリ然ルニモンテスキウノ外教ヲ寛怒ス
 ルヲ駁シテコレヲ有罪トナスハ自ラ野蠻ノ所
 業ヲ爲スニ非ラズヤ且ツ外教ヲ嘉ミスルト外
 教ヲ寛恕スルトハ固ト同一ノ事ニアラズ然ル
 ニ今モンテスキウハ外教ヲ寛恕シタルニテ外
 教ヲ嘉ミシタルニアラス然ルニ直チニ外教ヲ
 嘉ミスト見做シタルハ我輩ノ更ニ解セザル所
 ナリ又耶蘇教ヲ弘ムルハ必ラス慈悲ト心服ト
 ナ主ト爲スベシ他ノ仕方ヲ以テコレヲ廣ムハ
 カラズ然ルニ今モンテスキウヲ駁スル者所ノ

業ヲ見ルニ暴ヲ以テ教法ヲ弘メントスル者ノ
 如シ且ツ夫ノ異端督察司ノ如キハ其形状ハ譬
 ナ教敵ニ復スル者ノ如シト雖モ其實ハ教法ヲ
 辱シメ教法ヲ害スル者ナリサレハ其心未ダ謬
 迷ニ染著セラレヌシテ尙ホ憐愍ト公義ノ情ア
 ル者ハ夫ノ異端督察司ヘノ論駁ヲ讀テ感覺ヲ
 起サレモノハ無カルベシ(安)其論駁ノ文
 本書ニ載ス
 コレヲ要スルニ凡ソ人類ノ尊奉スベキ諸法ハ
 既ニコレヲ論シテ復餘蘊ナシ依テ今之ヲ比較
 シ而シテ其事物ト其法律トノ關係ヲ検査セン

人類ヲ管轄スル所ノ法ソノ種類一ナラス即チ
 性法アリ各人ニ通シ用フルモノナリ又神法ア
 リ宗旨ノ法ナリ又教會法アリ宗旨ノ政事ノ法
 ナリ又民法アリ人間一社會ノ諸員ノ法ナリ又
 治國法アリ其社會ノ政事ノ法ナリ萬國公法ア
 リ一ノ人間社會ト他ノ人間社會トノ間ニ行ハ
 ル、所ノ法律ナリ而シテ諸法律ノ目的各々
 別ナリ慎シテ之ヲ混雜スベカラス一法ノ區域
 ニ屬スルモノハ決シテ他法ヲ以テコレヲ管理
 ス可ラス恐ラクハ人間ヲ管轄スル所ノ大綱領

ニ混雜ヲ生シ不公平ノ事ヲ起スベシ抑々法律
 ノ性質ノ相異リ目的ノ相殊ナルハモト原理ア
 リテ然ラシムルモノナレハ是諸法律ヲ編輯ス
 ルニモ是原理ニ從フベシ但何ノ條例ヲ定ムル
 ニモ中庸不偏ノ心持ハ成文ケコレ存スベシ○
 正シク制定シタル法律ハタトヒ立法者ノ意ニ
 乖クガ如シト雖モ必ラス其意ニ合ヘリ其一例
 ナ舉クレハソロンノ制作シタル著名ナル法律
 ハ即チ是類ナリ其法律ハ公ナル騷動ニ與ラサ
 ル者(傍觀スル者ノ意)ハ破廉耻ト公告スベシト

アリ其法律ハ一ニハ一揆ヲ豫防シ一ニハ其一
 揆等アル時ハアテンス共和政治ノ諸員ハ法律
 ノタメニ余義ナク國ノ眞利益ニ注意スルニヨ
 リテ其一揆モ却テ有益トナリタリ是法律ハ遽
 カニコレヲ見レハソロンノ意ニ乖クカ如シト
 雖モ實ハ然ラス又介殼彈劾法ト雖モ又良法ト
 謂フベシ何ニナレハ一ニハ其法律ヲ實施セラ
 ル、者ノタメニハ尊榮トナリテ耻辱トナラス
 又一ニハ貪權者ノ害ヲ豫防シ且ツ投票者大數
 アルヲ須テ是法律ヲ施行シテ漫リニ用ヒス且

ツ是法律ハ名望アル者ヲ忌テ放逐スルヲ主ト
 スト雖モ年々是學アルニアラス五ケ年コトニ
 此法律ヲ實施スルノミナレハナリ凡ソ法律ハ
 全ク同一ノモノト見フルト雖モ其實ハコレヲ
 立ルノ趣意、其効驗及ヒ其條理ノ同一ヲサレ
 モノアリ蓋シ政体ノ異同、意見ノ異同、人民性質
 ノ異同ニ準シテ其趣意、其効驗、其條理ニモ異同
 ナ生スルナリコレヲ要スルニ律法ノ章句ハ簡
 古ニシテ且ツ端莊ナルベシ又律法ノ道理ハ立
 法者ノ胸中ニ在リト見定ムルモノナレハ之ヲ

揭示スルニ及ハサルベシ但シ其道理ヲ揭示ス
ルトキハ必ラス明白ナル原理ニ基キタル道理
ヲ揭示スベキナリコレニ付キ一話アリ昔シ盲
人ノ訴訟ヲ禁スル法ヲ作ルモノアリ其所以ヲ
尋ヌレハ則チ盲人ハ官吏ノ威嚴ヲ見ル能ハス
シテ輕侮スレハナリト答ヘタリ斯ノ如キ所爲
ヲ學フベカラス

モンテスキウハ其定メタル大綱領ノ用例ヲ示
サンガ爲メニ羅馬人ト佛蘭西人ヲ其例トシテ
出セリ蓋是二國ハ世界ニ於テ最モ有名ニシテ

且ツ我輩ノタメニハ尤モ關係ノ深キモノナレ
ハナリ但シモンテスキウ氏羅馬人ニ付テ論ス
ル所ハ法學ノ一科タル家督相續ノ事ニ過キズ
然レ佛蘭西人ニ付テ論スル所ハ其民法ノ起源
變革並ニ民法ヨリ起ル所ノ風俗等ノ既ニ廢セ
ル者並ニ今廢セラレントスル者ニ涉リテ更ニ
精細ナリトス就中封建ノ事ハ明細ニ論シタリ
抑此封建ナルモノハ上古ニハ決シテナキモノ
ニシテ未來ニモ又決シテコレアルマシキモノ
ニシテ其利害得失トモニ少ナカラス而シテモ

ンテスキウハ佛蘭西ノ王政ノ建設並ニ變革ト
 封建トノ關係ハ殊ニ精論シタリ且ツモシテス
 キウハアペー、ヂユ、ポーニ抗シテ別ニ一説ヲ立
 テ「フランク」人種ハ征服者トシテ「ゴール」ニ入り
 タリト云ヘリ夫レ「フランク」人種ハ羅馬帝ノ暴
 虐ニ苦ミタル「ゴール」ノ人民ノ招待ニ應シテ「ゴ
 ール」ニ來リ羅馬帝ノ權ヲ嗣キタリトハ此記者
 アペー、ヂユ、ポーノ言フ所ニシテ深遠精密新奇ナルガ
 ヲボ
 如シ然レモ我輩モ亦其説ヲ採用シ難シ
 以上モンテスキウノ律例精義ノ大意ヲ摘採シ

タルモノニ過キサルナリ

律例精義大意畢

正誤

自序

二 丁 ウ八行「トノ」ハ「グト」ノ誤

本文

一 丁 ナ二行「箸」ハ「著」ノ誤

二 丁 ウ四行「稗」ハ「裨」ノ誤

十六丁 ウ十行「誥」ハ「詰」ノ誤

十九丁 ウ九行「ナ」ハ「ヲ」ノ誤

廿六丁 ウ四行「氏」ハ「民」ノ誤

三十丁 ウ十行「所ノ」ハ「ノ所」ノ誤

出賣書目

東京本町三丁目

瑞穂屋

福地原一先生譯
交際公法

前編 二冊

價五十錢

鷗殿長慶先生譯
萬國奇觀

全 二冊

價四十錢

西周先生著
致知啟蒙

全 二冊

價五十錢

津田真道先生著
如是我觀

全 一冊

價二十錢

此書の萬國交際の事を考へて其の
官負むるべきの法を論じたる也

此書は歐米の帝王と英雄と稱せしめ
たる人々の傳を挙げ其の善を論じたる也

後編も條理あり翰文も法則あるものと
自らの理なりは理を區別し論じたる者を
西洋のロジック上の論法は書は其の
お解したる也の意あり

先生職務の餘暇古人未だ論及
せざる其の論じたる書なり夫は
文政の進歩を見るべし

鈴木唯一先生譯
律例精義

三十一冊之内一冊出来
價廿五錢

三千世界
國畫雙六

彩色摺 全一枚
價十五錢

そのころ
舎密の階

全三冊
價四十五錢

米國嘉約翰 譯
皮膚新編

全一冊
價四十五錢

宇宙の事物として事として法別きことあり
故に人間も自ら法律あり此は法律の國で
興る事を論じたる書あり原書は佛蘭の
モンテスキウといふ人の大憲法論なり
その双六の兒童の推察なり 學問の
階級を用ひて大は英國の大憲法を論じ
地理の一階を論じたり
此書は英國トマス・ステューアの學問書日本
を平假名をありして訳したる書あり
化學を論じたる書あり先づけは
皮膚の病を論じたる書あり天刑の
階級を論じたる書あり其書未だ邦に見ず
幸ひ今は法蘭西の書より翻譯し醫學者
の必見するべき書なり

定價廿五錢

明治八年十二月八日出版

東京牛込廿騎町十一番地

翻譯出版人 鈴木唯一

東京本町三丁目二十番地

發兌書肆 清水卯三郎

